

msnニュース(毎日新聞)より

みんなのニュース：就活も格差拡大？ 「苦」「楽」に二極化

来春卒業予定の学生が行った今年の就職活動の印象が「楽」と「苦」の二極に分かれることが、就職情報サイト「マイナビ」を運営する毎日コミュニケーションズ（本社・東京都千代田区）が実施した調査で分かった。複数の内定をもらえる学生と、なかなかもらえない学生の「格差」が拡大していることが浮き彫りになった。

調査は、来春卒業予定の大学4年生と、大学2年生の学生モニター3367人を対象にインターネットで実施。「あなたの就職活動を漢字で表すと？」という問いと、その理由についての自由記述で、全体の約35%に当たる1179人から回答があった。

それによると、1位は4年連続で「楽」（5.7%）。「想像以上に内定をもらうのが楽だった」「特に苦もなく第一志望の企業に内定をもらった」など、売り手市場を象徴する声が寄せられた。「楽」と答えた学生の中では「『らく』の意味ではなく、『楽しい』の意味」「さまざまな企業、同世代の人、人事の方に出会えて楽しかった」などの回答も目立った。

一方、昨年4位だった「苦」が2位に上昇。全体に占める割合も2.6%から4.7%に増加した。「一次面接も通らず、内々定を取るのもやっとだった」「思ったような結果が出せていないことに焦りを感じる」「面接には苦手意識が強いため『苦手』や『苦い経験』という意味」といった回答が並び、1位の「楽」を選んだ学生との違いが鮮明になった。

同社の調査では、6月末時点で内定をもらっている学生の割合は81.2%と、昨年より2.1ポイント減少。一方で、1人当たりの平均内定社数は2.29社と昨年より0.26社増加した。同社は「『楽』と『苦』が1、2位に並んだ背景には、内定が特定の学生に集中し、就職活動の二極化が進んでいる状況がある」と分析している。

3位は、「これからの自分の生き方を迷い、就職活動の方法を迷い、内定後にこの会社でいいのか迷い、迷うことが多かった」「いまだに自分のやりたいことが、はっきりしない」などの理由で「迷」、4位には「たくさん動いた人の勝ち」「動かないと何もつかめない」などとして「動」が入った。このほか、昨年はベスト10に入っていなかった「耐」が6位に入り、昨年7位の「笑」が消えた。【米岡紘子】

◇07年ベスト10

- 1位 楽（5.7%）
- 2位 苦（4.7%）
- 3位 迷（4.3%）
- 4位 動（3.4%）
- 5位 悩（2.9%）
- 6位 耐（2.6%）
- 6位 疲（2.6%）
- 8位 縁（2.4%）
- 9位 難（2.4%）
- 10位 知（2.0%）

◇06年ベスト10

- 1位 楽（5.3%）
- 2位 迷（4.0%）
- 3位 動（3.2%）
- 4位 縁（2.6%）
- 4位 苦（2.6%）
- 6位 知（2.5%）
- 7位 笑（2.3%）
- 7位 悩（2.3%）
- 9位 考（2.2%）
- 10位 忍（2.2%）